

九州 U-15 トレセンリーグ報告

期 日 11月28日(土)～11月29日(日)

会 場 大分県中津江村(鯛生スポーツセンター)

大会結果 Aパート(福岡・大分・佐賀・長崎)

Bパート(熊本・沖縄・宮崎・鹿児島)

※今年7月のトレセン大会の結果よりパート分けを行う。

(予選リーグ)

佐賀ー福岡(2-2)	長崎ー大分(0-2)
鹿児島ー沖縄(3-2)	熊本ー宮崎(3-1)
大分ー福岡(0-6)	長崎ー佐賀(4-2)
鹿児島ー熊本(1-4)	沖縄ー宮崎(1-2)
福岡ー長崎(3-0)	佐賀ー大分(1-0)
沖縄ー熊本(2-4)	宮崎ー鹿児島(4-0)

Aパート(福岡2勝1分け・佐賀1勝1敗1分け・大分1勝2敗・長崎1勝2敗)

Bパート(熊本3勝・宮崎2勝1敗・鹿児島1勝2敗・沖縄3敗)

(順位決定戦)

優勝決定戦 熊本ー福岡(1-3)	1位 福岡	2位 熊本
3位決定戦 宮崎ー佐賀(1-7)	3位 佐賀	4位 宮崎
5位決定戦 鹿児島ー大分(0-4)	5位 大分	6位 鹿児島
7位決定戦 沖縄ー長崎(0-5)	7位 長崎	8位 沖縄

(総括)

今年も昨年と同様のスケジュールでトレセンマッチを行った。橋川・宮川・小川3名のトレセンコーチにも参加して頂いての開催となった。今年度も、「ナショナルトレセン地域対抗戦」を各県の3種技術委員長で見に行った課題をもとに、そのイメージもとを持って各県共通理解の元に、ゲームに臨んだ。コンパクト・ハイプレッシャーを合い言葉にゲームを進めていったが、なかなか高いレベルの中で、しのぎを削るようなゲームにならない試合もあり、常にレベルの高いゲームが出来るようにすることは、これからの大きな課題となった。それでも、順位決定戦の中では、良い内容のゲームも見られて、そんなゲームを、いつでも、どこでも、誰とでも出来るようにしていくことは急務である。さらに、スタッフのゲームの中への関わりも重要なポイントで、どう選手に働きかけていくのかは、日頃の研鑽が必要である。

今回の地域対抗戦では、九州に大きな課題が突きつけられた。サッカー理解をしながら、ハードワーク出来る選手の育成とそれが出来る選手を育てる指導者の指導力の向上が求められている。日頃のトレーニングの中で「インテンシティ&クオリティ」の両立が日々のトレーニングの中で獲得できるような積み上げをする事が必要である。

このような課題を克服出来るように、さらに質の高い、ハイプレッシャーのゲームが出来るように、今後ともこの大会を継続させていきたいと思っている。